食道・胃・十二指腸の内視鏡検査についてのご説明

症状・疾患名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【検査の目的と方法】

貧血や腹痛の原因を調べたり、潰瘍、ポリープ、癌などを診断するために口または鼻から内視鏡を挿入し、食道、胃、十二指腸を観察します。その際病変の一部を採取して組織検査を行うこともあります。また、内視鏡下の治療としてポリープや早期癌を切除したり、出血している病変の止血などを必要に応じて行います。

【検査に伴う合併症】

1．検査の際には、のどの局所麻酔や胃腸の緊張をとるための鎮痙剤の注射をします。また、苦痛を和らげるための鎮静剤を注射することもあります。これらの薬剤によりごく稀にショックなどの重篤な合併症を起こすことがあります。また検査終了後眼の焦点があわなかったり眠気を催すことがありますので、検査当日は自動車、バイク、自転車の運転は絶対におやめください。

2．内視鏡検査や内視鏡を使った処置の後に、稀に出血や消化管の損傷、穿孔（消化管に傷がついたり穴があいたりすること）などの重篤な合併症を起こすことがあります。検査後、吐血、下血、タール便（黒い便）や強い腹痛があった場合には、当院にご連絡ください。

3．万が一、合併症が起きた場合には最善の処置・治療を行います。入院や緊急の処置・手術が必要になることがありますので予めご承知ください。

説明方法（行った説明方法にチェックをつけてください）

□ 口頭　□ カルテ　□ X線フィルム

□ 図示　□ 別紙補足資料　□ その他（　　）

注：別紙にて図示あるいは補足資料を用いた場合は、コピーなどをカルテに添付すること。

私は、上記の疾患に関して実施を予定する上部消化管内視鏡検査について、

患者＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様に対して以上の通り、その必要性及び安全性並びに合併症などの危険性を説明しました。

年　　月　　日

医療機関名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

医師(署名)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

その他、ご不明の点やご意見は、担当医師に遠慮なくお話しください。

同　意　書

私は、上記の疾病に関する上部消化管内視鏡検査について医師＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿の説明を受け、その必要性及び安全性並びに合併症などの危険性を十分に理解し納得しました。

ついては、上部消化管内視鏡検査を実施することに同意します。

なお、上部消化管内視鏡検査を実施中に緊急に処置を行う必要が生じた場合は、適宜処置を施すことについて同意します。

平成　　年　　月　　日

本 人 氏 名（署名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

家族等氏名（署名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（続柄）

東京都立広尾病院院長殿

注　患者が年少者やご自身で意思表示ができない場合には、ご家族等のみによる承諾でも結構です。

都立広尾病院　2014.12 作成